

景観施策の取組みについて

1. 景観資源 100 選冊子



景観資源 100 選冊子 表紙

平成 24 年度から令和 4 年度まで実施してきた「ここに残る景観資源発掘プロジェクト」において、これまでに指定した 106 の景観資源を掲載した冊子を発行。

◆内容 これまでに指定した 106 の景観資源

※歴代の岸和田市都市景観賞の展示も併催

◆配布先 図書館や公民館、小中高校など

◆PR方法 HPや広報、テレビ情報誌 vision などに掲載



ここに残る景観資源発掘プロジェクト
指定資源一覧

2. 岸和田市景観ウォーキング【塔原町のサクラ】

●塔原町のサクラ（岸和田市景観重要樹木）

平成 24 年 ここに残る景観資源発掘プロジェクト
にて景観資源（樹木⑮）に指定

平成 29 年 岸和田市景観重要樹木指定第 2 号



・イベント内容：大阪府の健康活動マイレージアプリ「アスマイル」を用いたウォーキングイベント。市立葛城上地区公民館（塔原町）に設置されたQRコードを「アスマイル」で読み取ることで、ポイントをためることができる。多くの方に、塔原町のサクラを訪れていただき、健康増進とともに景色を楽しんでいただく。

・イベント期間：令和 6 年 3 月 23 日（土）～4 月 14 日（日）

※サクラの開花時期を鑑み、当初予定より 1 週間延長して実施

・参加者（QRコード読取人数）：161 人

【ちきちき Walk 内でも紹介】

<ここに残る景観を巡る旅>ちきちき Walk とは、岸和田市のイメージキャラクター「ちきりくん」が、ここに残る景観資源発掘プロジェクトの指定資源や景観重要樹木、その他おすすめ景観スポットを巡り、岸和田市内の景観の魅力などを伝えるブログ。



3. 錨モニュメントの管理（景観資源をつくりだす）

◆昨年度以降の取組み

- ・シバザクラ植栽面積の拡大、除草除根、防草シート敷設
- ・<ここに残る景観を巡る旅>ちきちき Walk への掲載
- ・6 月 1 日景観の日に市ホームページで取組み紹介
- ・PRとして、市ホームページ上に専用 Web サイトを作成し、随時更新

◆今後の方向性 継続的に維持管理・植栽拡大し、景観の創出をPR



(R3. 3 植栽前)



(R6. 4 開花状況)



(R6. 3. 11 防草シート敷設)



(R6. 4. 10 範囲拡大)



(R6. 4. 17 開花状況)



◆ちきりくんもPR（ちきちき Walk）



ちきちき Walk 紹介HP

4. その他

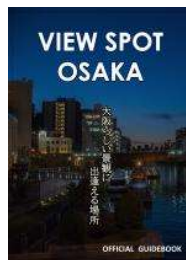
●ビュースポットおおさか（大阪府事業）

世界に誇れる大阪の魅力ある景観、きらりと光る個性豊かで多彩な景観を美しく眺めることのできる場所を一般から募集・選定・発信することで、府域全体の良好な景観形成を推進していこうとする大阪府の取組み。

令和元年から全4回の募集を経て合計100か所のビュースポットを選定。これまでに選定したビュースポットを掲載した「ビュースポットおおさか公式ガイドブック」を発行し、HPからのダウンロードや、府政情報センターで紙媒体での販売を行っている。また、ビュースポットに選定された箇所への銘板設置や、Instagramでの発信など、取組みの周知を図っている。



ビュースポットおおさか紹介HP 公式ガイドブック



◆ビュースポットおおさかに選ばれた岸和田市のビュースポット（3件）



第1回（2019年）「岸和田城を眺める岸和田高校前」※銘板は天守閣受付に設置



第2回（2021年）「街道のまちなみを眺める岸和田本町紀州街道」※銘板はまちづくりの館前に設置



第3回（2022年）「桜並木を眺める久米田池遊歩道」※銘板は久米田池交流資料館内に設置

●景観出前講座

◆出前講座とは 岸和田市の取組みや暮らしに役立つ知識・情報など、知りたいこと、学びたいことを市民等から申込みいただき、市役所の職員等が講師として『お話』をお届けするもの。

◆講座内容 テーマ「岸和田らしい景観について」

- ・自己紹介（都市計画課 景観担当について）
- ・景観ってなんだろう？
- ・岸和田らしい景観とは？
- ・景観に関する情報発信の取組み紹介
- ・ここに残る景観資源100選の紹介
- ・八木北校区の景観を訪ねて
- ・みなさんが「いいな」と思う景観を教えてください（質疑応答）



◆日時 令和6年5月26日（日）10:00～11:30

◆場所 箕土路青少年会館

◆参加人数 40名程度

◆総括 今回出前講座を行ったのは、ここに残る景観資源100選冊子を箕土路青少年会館にも配布したことで館長が興味を持ってくださり、お声掛けいただいたことがきっかけとなった。参加者は、景観について関心を持っている方が多く、熱心に話を聞いてくださっていた印象を受けた。

景観資源100選や地元の景観について紹介した場面では、自分の知っている景観資源もあったのか、反応が良かったように見受けられ、景観について改めて考え、意識してもらえる良い機会になったと感じた。

最後にみなさんに教えていただいた景観の中には、民家にある樹齢200年を超えるようなイブキの木や夜疑神社と境内の鎮守の森など、地域に赴くことで、まだまだ知らない新たな岸和田の景観を知る機会となり、今後活用できればと考えている。